

## 「光ブロードバンドの活用方策検討チーム」におけるこれまでの主な論点

### 1. 光ブロードバンドを活用して解決すべき具体的な地域課題

- ① 地方自治体のシステムの構築・維持等のコストの圧縮の具体的なモデルを作り、その行政改革効果を示すこと  
→ ベンダー間の緊張感ある競争を前提に、各自治体が特定のベンダーに偏ることなく、性能とコストの比較による選択が可能となるオープンモデル(行政システムのブロードバンド・オープンモデル)
- ② 光ブロードバンドを利用する側の視点を大事にして医療・教育などへの活用を図ること

### 2. 行政システムのブロードバンド・オープンモデルの実現のために必要な条件 (→第3回において具体的に議論)

- ① 地方自治体の基幹業務等におけるデータや帳票のレイアウト等について、一定の標準化が行われること(パッケージソフトについては、カスタマイズの抑制)
- ② 地方自治体のデータ処理を都道府県外でも可能にするため一定のセキュリティが確保されること
- ③ 行政システムのブロードバンド・オープンモデルについて、具体的なコスト削減効果及び住民へのサービス向上効果を明らかにすること

### 3. 行政システムのブロードバンド・オープンモデルについて、医療・教育等の地域課題への有効性を検証すること (→次回以降対応)

### 4. 平成 22 年度における実証実験の実施

- ① 実証実験のイメージの構築(→第 3 回において具体的に議論)
- ② 参加自治体を踏まえた具体的な実証モデルの構築(→次回以降対応)

### 5. 光ブロードバンドを活用した地域課題解決のためのベストモデルの構築 (→次回以降対応)